

お笑いを一席申し上げます

- A男 もしもし、もしも、B子さんですか?(少しあわてて)
- B子 はい、私です。どうかしたの?
- A男 それがね、さっき結婚式の日取りを2人で決めたよね。
だけどその日、駄目なんだよ。
- B子 どうして? この日は私の誕生日で、A男さんがこの日にしようって言ってくれたんでしょ。
私本当にうれしかったわ。
ねえ、どうしてこの日が駄目なの?
- A男 あのねえ、カレンダーを改めて見たら、この日はよくない日なんだよ。
仏滅なんだよ。
- B子 仏滅……。私の誕生日は悪い日なの?
- A男 僕はいいんだけどね。
親戚の人たちがいやがるから、両親がよくないって言うんだ。
それから、式場もよくないんだよ。
- B子 式場? どうして、あそこはA男さんのお友達がいる、親切に対応してくれると
言っていたでしょ。
- A男 方角が悪いんだよ。B子さんの家からも、僕の家からもほぼ北東の方向だよ。
それから、式場の番地もよくないんだ。
本町4丁目9番地なんだよ。
- B子 北東はいけないの? 何番地ならいいの?
- A男 南の方向の、1丁目3番地7号にも式場があるんだよ。
式場を変更しようよ。
- B子 どうして?……ところで、A男さんの家は何番地なの?
- A男 ……4丁目46号だよ。
- B子 私たち、結婚やめた方がいいかもしれないわね。(強い口調で)
- A男 いやだよ。(弱々しく)
- B子 いやだって言ったって、私たちの新居として借りたアパートは、入り口が北東で、
4階の409号室よ。うまくいくわけないでしょ。(ガチャン)

※上記は架空の事例であり、身近な慣行や因習を学習するために作成した台詞です。

この中の会話の是非を語り合うのではなく、この事例を契機に地域社会のあり方を振り返ってみてください。